

## 道路・街路・河川事業

土木部道路企画課(電話:457-2375)

道路保全課(電話:457-2425)

河川課(電話:457-2451)

道路や河川の緊急的な維持補修等に要する経費及び国庫補助内示に伴う事業費を追加する。

### 1 補正額 2,245,845 千円

(補助事業 1,380,912 千円、単独事業 829,600 千円、国直轄道路事業負担金 35,333 千円)

### 2 単独事業 829,600 千円

#### (1) 道路事業 713,600 千円

##### ①安全安心対策 585,000 千円

- ・住民に身近な道路等の維持修繕 300,000 千円
- ・道路劣化箇所の緊急修繕 234,000 千円  
県道笠井飯田線、市道萩丘都田線ほか7路線
- ・法面崩壊防止工事 30,000 千円  
市道湖東112号線ほか1路線
- ・通学路安全対策など 21,000 千円

##### ②その他 128,600 千円

- ・井伊直虎関連施設周辺道路安全対策事業 114,000 千円  
周辺道路の安全な通行環境確保により受入環境を改善
- ・国道150号(掛塚橋)補修工事負担金 9,600 千円
- ・国道257号(北区引佐町地内)道路情報板更新 5,000 千円

#### (2) 河川事業 116,000 千円

- ・住民に身近な河川排水路の維持修繕 60,000 千円
- ・高塚川改良工事(河床掘削、除草) 56,000 千円  
浸水被害の早期解消を目的とした河川流下能力確保対策

# 四ツ池公園運動施設現況調査業務委託費

市民部スポーツ振興課(電話:457-2421)

## 1 目的

四ツ池公園運動施設の有する課題を解決するため、現況調査を実施する。

## 2 背景

- ・四ツ池公園内にある野球場と陸上競技場については、施設の老朽化と駐車場不足が課題
- ・静岡県において遠州灘海浜公園（篠原地区）整備のための基本構想を策定
- ・基本構想の策定を受けて、四ツ池公園運動施設である野球場と、陸上競技場の現状と課題について、改めて詳細に検証する必要性が発生

## 3 事業内容

四ツ池公園運動施設について、下記調査を委託

### (1) 現況調査

- ・施設の耐久性、利用状況、交通アクセス及び駐車場利用状況等現状施設の調査
- ・風致地区等の各種関係法令における規制状況の調査

### (2) 課題抽出

- ・競技者、観客、大会主催者等から見た運動施設が抱える課題
- ・必要な設備、施設規模の検討、関係スポーツ団体等からの聞き取り調査等による都市公園としての課題

## 4 補正額 6,070 千円（スポーツ施設整備事業）

- ・委託料 6,070 千円

# 浜松斎場及び浜北斎場整備事業費

市民部市民生活課(電話:457-2026)

## 1 目的

持続可能な公共資産の適正保有と将来火葬体数に対応する施設配置を実現するため、現状の7斎場を再編・集約する「浜松市斎場再編・整備方針」に従い、浜松斎場の再整備及び浜北斎場の拡張整備を行う。

## 2 背景

- ・今後の火葬体数は、年々増加し平成52年にピークとなることが見込まれる
- ・市内7斎場のうち築40年以上が3施設（浜松、天竜、春野）、築25年以上が2施設（三ヶ日、佐久間・水窪）であり、施設の老朽化が進んでいる
- ・平成27年10月から11月に実施した斎場再編・整備方針案のパブリック・コメントの結果を踏まえ案の修正を行った（平成28年2月22日、パブコメ結果と合わせ修正案を公表）  
浜松斎場 廃止→存続（建替・縮小）、火葬炉数 現14基→8基  
浜北斎場 火葬炉数 現4基→9基（6基増→5基増）

## 3 事業内容

### （1）浜松斎場再整備事業 3,969千円

- ・敷地面積及び地形測量

### （2）浜北斎場拡張整備事業 29,914千円（債務 H28:0千円、H29:29,914千円）

- ・基本設計及びデザインビルド要求水準書作成
- ・法面調査・予備設計（地形及び地質調査、構造物予備設計）
- ・地質調査（施設建築物）

## 4 事業費 33,883千円

### （1）補正額 3,969千円

- ・委託料 3,969千円（浜松斎場再整備にかかる敷地面積及び地形測量業務委託）

### （2）債務負担行為

- ・事項 基本設計及びデザインビルド要求水準書作成等業務委託費（浜北斎場）
- ・期間 平成28年度から平成29年度まで
- ・限度額 29,914千円

## 5 整備スケジュール

- ・浜松斎場（建替・縮小） 平成38年度火葬棟供用開始予定、平成40年度駐車場供用開始予定
- ・浜北斎場（拡張） 平成33年度供用開始予定

# 浜松アリーナ空調設備改修工事費

市民部スポーツ振興課(電話:457-2421)

## 1 目的

浜松アリーナの空調設備の老朽化に対し、施設の適正な管理を進めることで長寿命化を図る。

## 2 背景

- ・空調設備は、竣工当初(平成 2 年)に設置したもので 26 年経過しており、経年劣化による不具合が発生
- ・平成 27 年度に「浜松アリーナ建築設備劣化調査及び修繕計画策定業務委託」を実施した結果、早急に空調設備のオーバーホール及び更新工事が必要なことが判明
- ・平成 28 年度当初予算において債務負担行為を設定し、平成 29 年 5 月から 9 月にかけて音響設備改修工事・大型映像装置改修工事を実施予定

## 3 事業内容

- ・浜松アリーナ空調設備改修工事として、冷温水発生器オーバーホール及び中央監視リモートユニット更新を実施し、空調機能の長寿命化を図る
- ・空調設備工事には一部の施設休館を伴うため、利用者・指定管理者への影響が最小限となるよう音響設備改修工事・大型映像装置改修工事と期間を合わせて行う

## 4 債務負担行為

- ・事 項 浜松アリーナ空調設備改修工事費
- ・期 間 平成 28 年度から平成 29 年度まで
- ・限度額 89,047 千円 (工事請負費)

# 浜松科学館展示リニューアル事業に係るアドバイザー業務委託費

市民部生涯学習課(電話:457-2413)

## 1 目的

PPP(公民連携)手法を導入し、浜松科学館の展示リニューアルを行う。

## 2 背景

- ・浜松科学館は平成 28 年 5 月 1 日で開館 30 周年を迎え、施設の老朽化及び展示内容の陳腐化が課題
- ・平成 27 年度に展示リニューアル検討会を設置し、「浜松科学館展示リニューアル基本構想」を策定
- ・平成 28 年 5 月、リニューアル手法を検討するにあたり市場性や民間ノウハウの把握を目的としたサウンディング型市場調査を実施(12 事業者にヒアリングし、デザイン・ビルド・オペレート手法(設計+製作+運営)を採択)

## 3 事業内容

- ・事業スキーム等の検討支援
- ・募集要項案及び要求水準書案等の作成
- ・事業者提案の審査支援及び契約締結の支援

## 4 債務負担行為

- ・事項 浜松科学館展示リニューアル事業に係るアドバイザー業務委託費
- ・期間 平成 28 年度から平成 29 年度まで
- ・限度額 18,500 千円

## 5 スケジュール

- ・平成 28 年 10 月 アドバイザー業務委託  
(委託期間:平成 28 年 12 月から平成 29 年 12 月まで(13 か月))
- ・平成 29 年 10 月 展示計画・設計・製作業務委託
- ・平成 31 年 3 月 リニューアルオープン(予定)

# 市民文化創造拠点施設基本構想策定業務委託費

市民部生涯学習課(電話:457-2413)

## 1 目的

教育文化会館（はまホール）の後継施設を、浜松市創造都市政策のなかで市民の文化創造拠点として位置付け、整備を計画していくため、「市民文化創造拠点施設基本構想」を策定する。

## 2 背景

- ・はまホールは、老朽化に加え耐震性の問題から、平成 27 年 3 月末で休館
- ・平成 27 年度、休館後の市内文化施設の利用実態等を検証し、今後の同施設のあり方を検討するため「はまホール検証検討会」を設置し議論
- ・平成 28 年 3 月に同検討会から、はまホールと同規模のホールは今後も必要との提言があり、市は、具体的な検討を実施

## 3 事業内容

- ・文化施設の現状分析及び市民ニーズ調査等基本構想策定のための基礎調査を委託
- ・調査を基に、庁内検討会及び浜松市創造都市推進会議にて検討・審議し基本構想を策定

## 4 債務負担行為

- ・事 項 市民文化創造拠点施設基本構想策定業務委託費
- ・期 間 平成 28 年度から平成 29 年度まで
- ・限度額 11,300 千円

## 5 スケジュール

- ・平成 28 年 10 月 基本構想策定業務  
(委託期間:平成 28 年 12 月から平成 29 年 6 月まで(7 か月))
- ・平成 29 年度以降 パブコメ後、基本計画・要求水準書の作成(業務委託)
- ・平成 31 年度以降 基本設計・実施設計・建設工事

# 市営住宅初生団地集約建替事業費

都市整備部住宅課(電話:457-2460)

## 1 目的

市営住宅の居住性の向上及び財産の効率的運用を図るため、市中心部の老朽化した5団地(松城、富塚(CB)、富塚(向平)、鹿谷(亀山)、鹿谷(真向坂))を用途廃止し、民間活力の導入により、老朽化した初生団地(北区)への集約建替を実施するとともに、用途廃止団地の余剰地活用を進める。

## 2 背景

更新期を迎えつつある老朽化した市営住宅について、ストックの効率的かつ円滑な更新を進めているところであり、中でも市中心部5団地については、耐用年数を数年残すのみとなり老朽化による居住環境の悪化などが顕著となっている。

## 3 事業内容

### (1) 市営住宅初生団地集約建替事業

- ・ 団地規模：集約対象6団地192戸を、50～55戸に集約
- ・ 事業範囲：初生団地の調査、設計(基本設計、実施設計)、工事監理、建設工事、既存初生団地解体工事及び市中心部5団地の余剰地活用
- ・ 事業手法：民活手法のPFI(BT)方式※を採用する。民間事業者から広く提案を求め、事業費の縮減を図る

※BT方式：民間事業者が施設等を建設し、事業終了後に公共施設等の管理者等に施設所有権を移転する事業方式(Build Transfer)

### (2) スケジュール

平成27～28年度 民間活力導入に関するアドバイザー業務委託  
平成28年度 初生団地集約建替事業の契約締結  
平成29～30年度 調査、基本設計、実施設計、解体工事、建設工事、工事監理  
平成31年度 集約建替事業終了(市へ建替住宅引渡し)、入居者募集

## 4 債務負担行為

- ・ 事項 市営住宅初生団地集約建替事業費
- ・ 期間 平成28年度から平成31年度まで
- ・ 限度額 938,654千円(公有財産購入費、財源：国 346,100千円、市債423,100千円)

# 水窪小学校他 1 校体育館耐震補強工事設計業務委託費

財務部公共建築課(電話:457-2461)

## 1 目的

水窪小学校体育館、西気賀小学校体育館の耐震化を進めることによって、地域住民の避難施設としての機能を確保する。

## 2 背景

本市はこれまで「浜松市公共建築物耐震補強推進計画」に基づき耐震性能が低く緊急性を要する施設から耐震化に取り組んできたが、熊本地震の被害状況を踏まえると、引き続きより一段高い耐震性能を目指す必要があり、静岡県基準(ランク I)を満たしていない特に避難所として活用が期待される体育館について、耐震化を進める必要がある。

## 3 事業内容

(1) 水窪小学校体育館及び西気賀小学校体育館の耐震補強工事設計業務委託 9,142 千円

避難所として特に期待される市内小中学校体育館で、県基準(ランク I)を満たしていない施設は、水窪小学校体育館、西気賀小学校体育館の 2 施設のみであり、地域住民が安心して避難できる場を早急に確保する必要があることから、この 2 施設について耐震化に取り組む。

(2) スケジュール

平成 28 年 11 月～平成 29 年 5 月 耐震補強工事設計業務委託

平成 29 年 6 月～12 月 耐震補強工事

## 4 債務負担行為

- ・ 事 項 水窪小学校他 1 校体育館耐震補強工事設計業務委託費  
(水窪小学校、西気賀小学校)
- ・ 期 間 平成 28 年度から平成 29 年度まで
- ・ 限度額 9,142 千円 (委託料)

# 直虎プロジェクト推進事業

産業部観光・シティプロモーション課（電話：457-2295）

## 1 目的

平成 29 年 1 月より大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送が決まったことに関連し、浜松市への観光客の受入体制を整備するとともに、井伊直虎を活用した観光誘客を図る。

## 2 背景

- ・大河ドラマ館関連の環境整備、リレーイベントの実施、奥浜名湖地区の観光ガイド運営など、事業実施のために必要な関係者との調整が進展

## 3 事業内容

### （1）環境整備 55,200 千円

- ・大河ドラマ館ロータリー及び周辺整備工事 30,000 千円  
みをつくし文化センター西側駐車場を路線バス等のロータリーとして整備するとともに、来場者の安全な動線確保等を目的として周辺の水路・調整池の蓋がけ工事等を実施
- ・井伊谷城バーチャルリアリティ体験 23,000 千円  
直虎プロジェクト関連施設等に専用のスクリーンを設置し、井伊谷城の復元イメージや当時の雰囲気などを CG で体験
- ・金指駅レンタサイクル置き場設置 2,000 千円
- ・三岳山観光仮設トイレ設置 200 千円

### （2）観光啓発 22,401 千円

- ・上田市との大河ドラマリレーイベント 4,000 千円
- ・奥浜名湖等観光ガイド運営 4,401 千円
- ・横断幕、懸垂幕、のぼり旗、浜松駅周辺広告等 14,000 千円

### （3）誘客宣伝 6,950 千円

- ・ノベルティグッズ作成 2,000 千円
- ・大河ドラマオフィシャルポスター 1,950 千円 など

## 4 補正額 84,551 千円

- ・委託料 50,481 千円
- ・工事請負費 32,000 千円
- ・需用費 2,000 千円
- ・使用料及び手数料 70 千円

# 大河ドラマ関連事業の全体経費

(単位：千円)

区 分	27年度	28年度			29年度	合計
		当初予算	5月補正	9月補正	債務負担 行為 限度額	
<b>I 直虎プロジェクトの推進</b>	148,984	146,100	200,873	84,551	137,500	718,008
1 環境整備(市中心部)	0	0	43,300	0	27,300	70,600
2 環境整備(大河ドラマ館関連)	74,282	146,100	82,290	55,200	110,200	468,072
3 観光啓発	38,108	0	37,634	22,401	0	98,143
4 誘客宣伝	30,860	0	37,649	6,950	0	75,459
5 事務費等	5,734	0	0	0	0	5,734
<b>II 地域遺産センターの整備</b>	118,556	37,100	0	0	0	155,656
<b>III 道路の交通安全対策</b>	37,000	140,000	0	114,000	0	291,000
<b>IV その他関連事業</b>	27,730	8,814	0	0	0	36,544
1 城跡整備活用事業	16,219	104	0	0	0	16,323
2 天竜浜名湖鉄道市町負担金	0	5,380	0	0	0	5,380
3 地域力向上事業(北区)	4,682	0	0	0	0	4,682
4 その他	6,829	3,330	0	0	0	10,159
<b>合 計</b>	<b>332,270</b>	<b>332,014</b>	<b>200,873</b>	<b>198,551</b>	<b>137,500</b>	<b>1,201,208</b>

# まちなかレンタサイクル実証実験事業（負担金）

産業部産業振興課（電話：457-2095）

## 1 目的

まちなかの回遊性向上を通じた都心のにぎわい創出を目指し、中心市街地においてレンタサイクル実証実験を行うことで、本市特有のニーズや課題を把握するとともに、採算性を考慮した料金体系や運営方法の検証を行う。

## 2 背景

- ・中心市街地においては、浜松城、科学館、楽器博物館、美術館、鴨江アートセンター等の文化施設が点在するなど、区域内の回遊性向上が課題となっている
- ・平成 29 年 1 月から放映される大河ドラマに関連した観光客やビジネス出張による来訪者の移動ツールとして、自転車の有効性が注目されている

## 3 事業内容

中心市街地においてレンタサイクルの実証実験を行う「(仮称) 都市型レンタサイクル推進協議会」に対する負担金

〈レンタサイクル実証実験事業の概要〉

実施目的：利用時間、利用条件、料金体系、利用目的・行先などのニーズを把握するとともに、課題や採算性を考慮した運営方法の検証を行う

実施主体：(仮称) 都市型レンタサイクル推進協議会

※構成員：浜松市、浜松観光コンベンションビューロー、浜松自転車協会、  
NPO 法人地域づくりサポートネット

実施場所：べんがら横丁跡地にレンタサイクルステーションを設置

実施期間：平成 29 年 1 月から平成 30 年 12 月まで（2 年間）

自転車：50 台程度（一般自転車、ロードバイクなど多様な自転車を設置予定）

## 4 補正額 12,000 千円

- ・負担金補助及び交付金 12,000 千円

（レンタサイクル実証実験負担金）



# UIJターン就職支援事業

産業部産業総務課（電話：457-2339）

## 1 目的

人口減少社会の到来及び若者の転出超過が続く中、浜松地域の次代の産業を担う人材や労働力の確保を目的に、大都市圏から大学等新卒者や転職希望者の市内企業への就職を促進する UIJ ターン就職支援事業への取組みを更に強化し、継続的に実施する。

## 2 背景

- ・本市が実施した UIJ ターン就職に関する実態調査（平成 27 年度実施）によると、UIJ ターン就職活動の妨げとして「浜松市内の就職情報が不足している」、「距離が遠いため交通費がかさむ、時間が確保できない」ことが上位を占め、本市に期待する支援策としては、「企業による説明会の開催」、「web による市内企業情報の提供」への要望が多い
- ・平成 28 年 7 月に開催した就職面接会の出展企業 10 社を対象としたアンケートにおいては、就職説明会の解禁日に合わせた開催日程を望む声が多く聞かれた

## 3 補正内容

日本経済団体連合会の指針である新卒採用就職説明会解禁時期の 3 月に合わせ、平成 30 年 3 月卒業予定の大学生等を対象とした就職説明会を浜松商工会議所等と連携協力して開催

〈説明会概要〉

名 称：“浜松やらまいか就職説明会 in TOKYO”

会 場：東京都内

開 催 日：平成 29 年 3 月

対 象 者：大学 3 年生等

参加企業：浜松市内企業 50 社

## 4 補正額 4,050 千円

- ・委託料 3,800 千円（就職説明会周知・運營業務委託）
- ・需用費 250 千円（イベント時使用 PR パネル、のぼり）

# ふるさと納税

財務部税務総務課（電話：457-2141）

## 1 目的

ふるさと納税の寄附額が当初の見込みを大幅に上回ったことに伴い、ふるさと納税歳入及び関連経費を追加する。

## 2 背景

- ふるさと納税の寄附額増加に向けて平成 28 年度からお礼品目の追加や寄附申込のネット受付による手続きの簡素化などを行っている
- 上記の見直しにより、7 月時点で前年度同時期比でおよそ 10 倍の額の寄附が集まっている

区分	平成 28 年度 A	平成 27 年度 B	増減 A-B	増減率 A/B
4 月～7 月	94,058 千円	9,518 千円	84,540 千円	9.88 倍

## 3 補正内容

### (1) 歳出

- 寄附額の増加に伴うふるさと納税包括業務委託費の追加  
ふるさとチョイスを経由して寄附された金額の 8% + 消費税分
- お礼品経費の追加  
市外居住者…包括業務委託として受託業者がお礼品を調達、発送（委託料）  
市内居住者及び遠鉄コラボ企画お礼品希望者…市が直接対応（手数料）

### (2) 歳入

- 現在の寄附状況を踏まえたふるさと納税歳入の追加

## 4 補正額 169,707 千円

- 委託料 152,207 千円（業務委託料、市外寄附者向けお礼品経費）
- 役員費 16,700 千円（納付書、お礼状等、市内及び遠鉄百貨店コラボレーション企画寄附者向けお礼品経費、Yahoo! 公金支払いサービス手数料等）
- 需用費 800 千円（リーフレット作成）

※歳入補正：ふるさと寄附金 245,000 千円

# 感染症患者移送用車両購入

健康福祉部保健予防課(電話:453-6116)

## 1 目的

感染予防対策設備が完備された専用車両の導入により、1 類感染症、2 類感染症の患者（疑似症患者含む）の感染症指定医療機関への移送を常時対応可能とし、迅速かつ安全な移送体制を整備する。

## 2 背景

- ・平成 26 年 11 月 28 日付け厚生労働省健康局結核感染症課通知により、基本的な移送体制（移送車両・資器材を調達し、移送可能な体制）を保健所が確保することとされている
- ・平成 28 年 2 月 1 日付け厚生労働省健康局結核感染症課通知により、患者移送用自動車及び患者移送用陰圧装置が補助金交付対象となり、平成 28 年 7 月 29 日付け内示を得た

## 3 事業内容

1 類感染症（エボラ出血熱等）、2 類感染症（中東呼吸器症候群（MERS）、新型インフルエンザ等）患者・疑似症患者の移送用車両の導入。

## 4 補正額 7,330 千円（財源：国 2,520 千円）

- ・備品購入費 7,330 千円（車両購入費、仕様変更費用等）

# 農作物被害対策支援事業

産業部農業振興課(電話:457-2332)

## 1 目的

野生鳥獣による農作物被害、集落における農業従事者等への生活被害を総合的な対策により防止し、本市の農林水産業の振興及び経営の安定を図る。

## 2 背景

- ・毎年、野生鳥獣による深刻な農林業被害が発生しており、被害を抑えるために駆除と防護の両面から対策が必要である
- ・浜松市野生動物捕獲事業費報奨金及び浜松地域鳥獣被害対策協議会負担金について、県からの内示額が増額された

## 3 事業内容

### (1) 浜松市野生動物捕獲事業費報奨金 1,458 千円

- ・農作物に被害を与える有害鳥獣の駆除への助成を行うことで、農作物被害を低減
- ・捕獲者に対し、捕獲頭数に応じて獣種ごとに定められた報奨金を支払う
- ・報奨金は市負担分と国負担分（県経由）があり、捕獲者は駆除実施後、市負担分と国負担分で別々に報奨金の申請を行い、交付を受ける

### (2) 浜松地域鳥獣被害対策協議会負担金 4,397 千円

- ・イノシシ、サル、シカ等の野生動物による農産物の被害を防止するため、浜松地域鳥獣被害対策協議会が実施する事業に対して負担金を支出
- ・事業主体： 浜松地域鳥獣被害対策協議会（事務局：浜松市農業振興課内）
- ・構 成 員： 浜松市、林野庁天竜森林管理署、西部農林事務所、静岡県森林技術研究所、静岡県西部猟友会、鳥獣保護管理員 2 人、森林組合 6 団体、農協等 4 団体
- ・事業内容（ハード事業）： 大規模防護柵（市内 3 地区 8 か所、全長 25.6km）の設置

## 4 補正額 5,855 千円（財源：県 5,855 千円）

- ・負担金補助及び交付金 4,397 千円
- ・報償費 1,458 千円

# 畜産環境・衛生対策支援事業

産業部農業振興課(電話:457-2332)

## 1 目的

家畜伝染病の地域内のまん延リスクを低下させるため、農場に出入りする全ての畜産関係車両(家畜運搬車や飼料用運搬車両等の大型車両を含む)の消毒を徹底する。

## 2 背景

- ・近隣諸国において鳥インフルエンザ、口蹄疫等が継続的に発生している。これら家畜伝染病のまん延防止は、安定的な畜産経営だけでなく、市民の公衆衛生維持のためにも重要である
- ・平成 28 年度消費・安全対策交付金について、国から県に対し内示があり、これを受けて県から交付連絡があった

## 3 事業内容

- ・大型車両に対応した消毒施設を設置する畜産関係施設に対し、整備にかかる費用を助成
- ・補助率 補助対象事業費の2分の1以内
- ・施設概要 消毒ゲート(W4,850mm×D10,300mm×H5,040mm)及び消毒槽  
※薬剤の高圧噴射による車体全体への散布が可能

## 4 補正額 2,472 千円(財源:県 2,472 千円)

- ・負担金補助及び交付金 2,472 千円